

第1回 小牧市地域包括ケア推進計画策定委員会 議事録

日 時	令和4年11月17日（木） 午後1時30分～3時
場 所	小牧市役所 本庁舎 6階 601会議室
出席者	<p><b>【出席委員】（名簿順）</b></p> <p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校 校長  石田 幸大 小牧市薬剤師会  永平 美奈子 小牧市介護保険サービス事業者連絡会（居宅介護支援部会）  江口 はづき 小牧市介護保険サービス事業者連絡会（施設部会）  河内 宏一 小牧市リハビリテーション連絡会  小木曾 眞知子 障がい福祉相談支援事業所  三嶋 直美 南部地域包括支援センター 管理者  田中 秀治 小牧市社会福祉協議会 在宅福祉課長  鳥居 由香里 こまき市民活動ネットワーク 副代表理事  舟橋 武仁 区長会連合会 連合副会長（巾下地区）  木村 正尚 小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会 南部地区会長  橋本 牧男 公募委員  山本 菜々美 公募委員</p> <p><b>【欠席委員】</b></p> <p>前川 泰宏 一般社団法人 小牧市医師会 理事  佐々木 成高 小牧市歯科医師会 副会長  鈴木 久代 学校教育課 指導主事</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>伊藤 俊幸 福祉部長  松永 祥司 福祉部 次長  西島 宏之 地域包括ケア推進課 課長  平手 明仁 介護保険課 課長  倉知 佐百合 地域包括ケア推進課 福祉政策係 係長  社本 里美 介護保険課 保険資格係 係長  吉本 隆正 地域包括ケア推進課 福祉政策係 主任  中村 なぎさ 介護保険課 保険資格係 主任  櫻井 克匡 小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 課長  山田 美智子 三菱リサーチ&amp;コンサルティング株式会社 主任研究員</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>資料1 小牧市地域包括ケア推進計画策定委員会設置要綱</p> <p>資料2 委員名簿</p> <p>資料3 小牧市地域包括ケア推進計画の概要</p> <p>資料4 市民意識調査及び各種実態調査の実施について</p> <p>資料5-1～5 各種調査項目一覧及び調査票</p> <p>資料6 今後のスケジュール</p>

当 日 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配席表</li> <li>・ 小牧市審議会等の会議の公開に関する指針</li> <li>・ 第3次小牧市地域福祉計画・第3次小牧市地域福祉活動計画（冊子）</li> <li>・ 第8次小牧市高齢者保健福祉計画（冊子）</li> </ul>
----------------	--

## 1. 開会

### (1) 委嘱状の交付

### (2) 委員の紹介

### (3) 会長、副会長の選任

- ・ 会長に長岩嘉文委員、副会長に田中秀治委員を選任。

## 2. 議題

### (1) 会議の公開について

- ・ 小牧市審議会等の会議の公開に関する指針第4条に基づいて本委員会の公開を決定。併せて委員会終了後、議事録については委員の確認後に公開することを説明。

### (2) 小牧市地域包括ケア推進計画の概要と策定方針について

- ・ 事務局より、資料3（小牧市地域包括ケア推進計画の概要）を用いて説明。質疑、主な意見は以下の通り。

#### 長岩会長)

初めて聞くことが多く全体を把握するには時間が掛かるかもしれませんが、スライドの5ページ目に小牧市地域包括ケア推進計画のイメージ図が掲載されております。上から2つ目が本計画ですが、網掛けになっている部分が介護保険事業計画です。

介護保険事業計画は3年に1回の見直しがある3ヵ年計画です。介護保険事業計画は、その矢印の上の老人福祉計画と併せて策定の義務がある計画で、地域福祉計画は努力義務となっている計画です。

今回は、この3つの計画を一体のものとして策定するところが1つのポイントだと思います。本計画6ヵ年の間に介護保険事業計画を1回リニューアルします。なかなか複雑ではありますが、質疑応答を通して理解を深めていければと思っておりますので今回の策定方針にご意見があればお伺いしたいです。

#### 鳥居委員)

8ページでは「高齢者」、「子ども」、「生活困窮者」といった視点で図示されていますが、もう1点、「外国人」といった部分はどうされるのか。他市ではそういう部分も入ってきているので小牧市としてはどうされるのか知りたいです。

#### 事務局)

多文化共生の観点から、外国人も含めて推進していく考えです。

#### 長岩会長)

小牧市は多文化共生の個別計画は存在しますか。

**事務局)**

存在します。

**長岩会長)**

ありがとうございます。江口委員、介護保険事業計画の委員を経験した立場から地域福祉も含めてお気づきの点はありませんか。

**江口委員)**

今回は3つの計画をどのようにまとめていくかが難しいと感じています。どうしても高齢者に向けた視点に偏りがちな部分があり、外国人等も含めた考えをしていたかどうかと思うと、私もまた勉強しなければならないと感じました。また、難解な言葉が多く出てきますので、それらをどう分かりやすく伝えていけるかがポイントになると思いました。

**木村委員)**

今、話があったとおり、市民の方にどう伝えていくかがちょっと心配です。また、本計画の途中で介護保険事業計画が改定されますが、それをどのように反映させていくのかが気になります。

**長岩会長)**

資料を用いた説明でもあったとおり、介護保険事業計画は個別計画、地域福祉計画は上位計画であるため、一本化する難しさというか、説明のしにくさを感じるかもしれません。

公募委員の方にもご意見を伺ってみたいと思います。橋本委員いかがですか。

**橋本委員)**

一般市民としては、今お聞きした支援体制のご説明はするのですが、いろんな言葉の繋がりが難しいところがあります。資料をいただきながらこれをいかに徹底していくか。これは、今後我々市民が共生するために実施していく活動ではないかと考えています。

いずれにしても、現在、海外からこの地区にお住まいになられる方は増えています。このような方々にも情報を聞きながら、いかに旧区民との整合性を徹底していくかが問題となると思っています。

ただ、先ほど聞かせていただいた感じだと、大分近いものができてきており、これからそれらに対する理解度も深まってくると思います。海外の方々にも手を差し伸べて情報共有していこうと思いますので、色々と勉強をさせていただきたいです。

**長岩会長)**

ありがとうございました。山本委員はいかがですか。

**山本委員)**

この計画には介護だけではなく子育てや障がい者の方も含んだ計画であるため、まだ介護保険を使ったことがない世代の人たちにとっても「介護保険ってなんだろう」と知ってもらえる機会になるかもしれない。そんな前向きな気持ちもあります。

しかし、やはり難しい内容が多く、この計画をどのように伝えていくかという課題もありますし、一番難しいのはどのように協力してもらう体制を作るかだと思います。

現実の社会では、仕事もあるし、子育てもあるし、親の介護もあるなど、ばらばらになってしまいますので、地域の方々と手を取り合いながら地域包括ケアがしっかりと出来るような、どちらかという計画の内容を伝えるよりは、「小牧市のよいところはこういうところだよ」と子育て世代に伝えていきたいのが率直な感想です。

**長岩会長)**

スライドの3ページの下三行に「市町村による地域住民と行政等との協働による包括的支援体制作り」という文言をどのようにしていくのか。今回の計画でどのように肉付けしていくかと

いう部分がポイントだと思います。

5ページには、障がい関係の計画、こども・子育ての計画、健康こまきいきいきプランなどの個別計画が掲載されており、先ほどの事務局の説明だと多文化共生の計画もあります。

その中で最大公約数的な部分を作成していくことが地域包括ケア推進計画のポイントだと思いますので、この辺りの枠組みをご理解いただく必要があるのかと感じました。

#### 河内委員)

自分はいつも医療保険の方で働いていますが、地域包括の予防事業者で、実際に市民の方に指導する立場にいます。市民の方と行政が行おうとしていることにギャップがあったりするときがあるので地域包括ケア推進課にもお話をさせていただいているのですが、先ほど言われたように「地域住民と行政等との協働」について本当にすごく難しいと感じています。

今後もそういった現場の声を届けていきたいと思いますが、自分も知らないことが多いので勉強しながら実施していきたいと思います。

#### 長岩会長)

ありがとうございます。ぜひ、現場での声を計画に反映できるようご発言いただけるとありがたいです。

### (3) 市民福祉意識調査及び各種実態調査の実施について

- ・事務局より、資料4（市民意識調査及び各種実態調査の実施について）および資料5-1～5（各種調査項目一覧及び調査票）を用いて説明。同時期に実施する他部署調査と調整中である項目については「削除候補」、「検討中」であることを説明した。
- ・質疑、意見交換の後、最終的な調査項目の決定は委員長及び事務局一任とした。主な内容は以下の通り。

#### 鳥居委員)

何点かよろしいでしょうか。まずは1点目ですが、すべての調査票に共通して「性別」を回答する欄がありますが、ダイバーシティの視点から「その他」という項目を加えるか、記述方式にしたらよいと考えます。小牧市もSDGsの視点から政策を考えているのであれば検討していただきたいと思います。

次に資料5-1「地域福祉に関する市民意識調査」の問3について、今回は障がい者の分野も包括した計画ということで、障がい者の同居状況なども知っておいた方がよいのではないのでしょうかと考えました。

また、同調査票の3ページ下部に余白がありますので、このスペースに「市民交流テラスワクティブこまき」を紹介できないかと考えています。次の問いに関連する市民活動団体、障がい者学習サークルなど色々な情報を持っています。

資料5-3「高齢者保健福祉に関する実態調査」の問44と45には【身体介護】【生活援助】【その他】という3項目で構成されていますが、【心の援助】という部分を入れて欲しいです。介護をする側もされる側も会話をして心の安定を取っていたという部分がありますので、その部分を少し入れていただけるとよろしいかと思います。

最後に資料5-4「小牧市地域包括ケア推進計画策定にかかる介護保険事業所 アンケート調査票」については、ぜひ、災害時の業務継続計画（BCP）の策定についてのこともぜひ盛り込んで欲しいと考えています。

#### 長岩会長)

ありがとうございます。他にご意見・ご質問はありますか。

**橋本委員)**

資料5-1「地域福祉に関する中学生調査項目案」の表で平成28年度調査のQ2からQ7までのボランティアに関する項目が削除候補となっていますが、小中学生の実習に立ち会った際、後から色々と確認すると「高校の専門科を選ぶ際、経験が非常に役に立ちました」という意見があり、これは大きな方向づけではないかと考えます。

**長岩会長)**

ありがとうございました。先ほど、事務局の説明の中で『同時期に実施する他部署調査と調整中である項目については「削除候補」、「検討中」である』とのことでしたが、鳥居委員と橋本委員のご意見に関してはどのように考えていますか。

**事務局)**

まず最初に、調査票の性別表記についてはSDGsの観点から、記載方法を検討していきたいと考えています。

家族構成の問いに「障がい者」を盛り込むことについては、同時期に障がい者計画、障がい者福祉計画、障がい児福祉計画の見直しが行われ、これらの計画の中で障がい者手帳をお持ちの方を対象とした調査を実施いたします。その調査にて、障がいのある方のご家族にどのような支援が必要なのかをお伺いさせていただきますので、本項目には選択肢を設けない予定です。

それから、「市民交流テラスワクティブこまき」につきましては、高齢者にとっても相談等により様々な情報が得られる非常に重要な場所と考えておりますので、どのような形になるか分かりませんが盛り込む方法を検討してまいります。

中学生のボランティア項目の削除については、新規項目に参加したことがある活動や行事、具体的な福祉体験やパラスポーツ、それから今後のパラスポーツ体験などを加える予定です。つまり、ボランティアに特化した形ではなく幅広い形の意識調査をしてまいりたいと思います。

また、資料5-3「高齢者保健福祉に関する実態調査」の間44と45の【心の援助】、資料5-4「小牧市地域包括ケア推進計画策定にかかる介護保険事業所 アンケート調査票」の業務継続計画策定の件については、検討してまいりたいと思っています。

**小木曾委員)**

資料5-2の16ページ、資料5-3の12ページにそれぞれ成年後見についての項目がありますが、「成年後見がつくと何か権利を奪われるんじゃないか」というイメージが世間にある中、「今後、成年後見制度を利用したいと思いますか」という設問で「利用したくない」と回答した人にはその理由を聞いた方が良いと思います。

「利用したくない」と答えたならそれなりの理由があるだろうし、その理由が解決していけば制度利用の促進になると思います。

**長岩会長)**

ありがとうございました。成年後見人について尋ねるのであれば、利用したくない理由も調査した方がよいというご意見ですが、小牧市は成年後見制度利用促進計画がありましたよね。どうですか。項目数は増えますがこの辺りの理由を聞いてみてもよいと思いますが。

**事務局)**

成年後見制度利用促進計画は令和4年4月から計画を開始しています。この計画の調査等の状況を確認しながら検討していきたいと思っています。

**長岩会長)**

利用促進計画の調査で既に細かい部分まで項目が設定されているのであれば、そちらで認識しておいてもらえば良いと思います。

それでは、今、具体的に色々ご指摘もございましたので、この後は私と事務局にご一任を

いただいて精査をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### (4) 今後のスケジュール

- ・事務局より、資料6（今後のスケジュール）を用いて説明。併せて全体の総括も行った。内容については次のとおり。

##### 舟橋委員)

地域包括ケアという仕組みは現在も動いているとは思いますが、仕組みの上にどうタッチしてどうひっかかっていくのか。その仕組みづくりというか、いろいろ創意工夫を講じる中で介護だ福祉だっていう分野だけではないと思うのですが、いろんな角度からヒットさせることが出来る仕組みがあれば良いと考えており、また地域としてはそのような形にしていだけるとありがたいと思っています。

##### 長岩会長)

ありがとうございます。この計画は「地域の人たちが何も知らない間に出来上がっており、何も接点がない」では困るので、地域の人たちとリンクできるような仕掛けを作るべきであるというご意見でした。田中副会長、いかがですか。

##### 田中副会長)

前回の地域福祉計画を策定していた時、舟橋委員が言われたところが一番大事であるということテーマに掲げてきました。

と、申しますのも地域福祉計画は住民の方の自助・互助の部分をもどのような形で施策と関連付けていくかという点が課題となっていたので、住民が取り組んでいただける計画として配慮していく必要があると考えています。

今回は3つの計画の一体化計画ですので、前提として「0歳から100歳まで」を対象とした計画にしていくことと、住民が取り組める分かりやすい計画という形で取り組んでいければ良いと考えました。

##### 長岩会長)

今回の計画は前提としてさまざまな調査を行うこととされていますが、前回の第3次小牧市地域福祉計画の冊子を見るとふくし座談会や団体ヒアリングを実施しているようですが、小牧市として現時点ではどのようにお考えですか。

##### 事務局)

ふくし座談会については、来年度以降、回数未定ではありますが実施予定です。団体ヒアリングに関しては今のところ実施の予定はありません。

### 3. その他

#### 事務局)

- ・次回の会議開催は令和5年1月12日に開催予定。
- ・委員会の議事録（案）作成後、委員の皆さまにご確認いただく。

### 4. 閉会